



ナ・シ・ル

FREE

2022.5

知つておきたい「免疫」のホント

医師は「免疫力」という言葉を使わない?
発酵食品が有効?

「法医学」の世界

アンナチュラルな死を解明、未来に繋げる

鳥大の人々

山本 一博

鳥取大学医学部附属病院 副病院長
第一内科診療科群 主任診療科長

ファッション番長が辛口でぶった切る?
とりだい病院★ファッションチェック!

◎病院長対談

「たすくのタスク」大宮エリー（作家・画家）

駆けだし小説家の独り言「ふみ日記」

頭に浮かんでくるのは
期待に応えることができなかつた**患者さんの顔**

山本 一博 鳥取大学医学部附属病院 副病院長・第一内科診療科群 主任診療科長

山本の専門である「循環器内科」は「心臓血管外科」とともに生死に直結する臓器——心臓を扱う。心臓治療では、かつては明確に区別されていた内科と外科の区別が曖昧になりつつある。そして、医師以外の多職種の協力が必須だ。診療科、そして職種の垣根を越えた「チーム医療」が最も必要な分野とも言える。



写真・中村 治

そうだと思つたんだす】
今となつては自分の教えたことは、彼の質問への答えになつていたかどうか分かりませんけれど、と笑う。幸い、友人の手術は成功した。

そもそも「循環器内科」という単語を耳にしたことはあるても、正確に定義できる人間は医療関係者、当該患者以外では稀だろう。

「胸を開けて心臓を手術すると聞くと当然不安になりますよね。当時は手術による合併症の危険性が高く、今と比べると死亡率も高かつた。そこで医学部に通っているぼくに色々と聞いてきたんです。ところが、最初の2年間はほぼ教養課程で全然医学的な勉強はしていないから、何も知らない。それでもなんとか力になりたいと思つて調べているうちに、面白

鳥取大学医学部附属病院第一内科診療科群、主任診療科長である山本一博が、自らの進む道を循環器内科と決めたのは、大阪大学医学部の2年生のときだつた。きっかけは高校時代の同級生が心臓弁膜症手術を受けたことだつた。

心臓は体内に血液を循環させるポンプ、と表現される。血液は心臓から押し出され、肺で受け取った酸素を全身に届けて再び、心臓に戻る。血液が間違つた方向に流れないように、心臓には4つの「弁」がある。その弁が何らかの問題を抱えて本来の役割を果たせない症状を「心臓弁膜症」と呼ぶ。

です。その時点でのファクト＝エビデンスを重んじていても、そのファクト自体がひっくり返ることもあり得る。大切なのは愚直に取材し、確かな文献に当たり、真摯に考える——それが我々の姿勢です。

昨今の新型コロナウイルスに関する報道で「インフォデミック」という言葉を耳にした方も多いでしょう。これは情報が感染症のように拡散し現実社会に影響を及ぼす現象を指します。SNSなどの発達により、我々が手にする情報は爆発的に増えました。その中から、いかに正確な情報を選び取ることができるか。生命の危機にも直結する

「カニジル」が第一にこだわるのは「ファクト」です。

医療に関して、不正確な情報が世の中にあふれています。短く、分かりやすい言葉は人々の心に突き刺さりやすい。しかし現実はそう簡単ではありません。分かりやすくするため、大切なものを多くそぎ落としています。

医療は、科学的に証明されていることとそうでないことを完全に二分できない世界

病気にはからない、あるいは怪我をしないという人はいません。どんな人にとっても医療は生活に切り離せない。しかし、敬遠したり、垣根が高いと感じる人も少なくありません。そこで、医療の世界を「いかに知つてもらうか」→「いかに知る」→「力ニジル」となりました。

h:il 宣言

医学では、その力が特に必要になつてきます。米子市出身の経済学者、宇沢弘文は著書の中で「社会的共通資本」を「一つの国ないし特定の地域に住むすべての人々が、ゆたかな経済生活を営み、すぐれた文化を開き、人間的に魅力ある社会を持続的、安定的に維持することを可能にするような社会的装置」と定義しました。また「一人ひとりの人間的尊厳を守り、魂の自立を支え市民の基本的権利を最大限に維持するために不可欠な役割を果たすもの」とも書いています。

とりだい病院は、医療機関であると同時に、この地域でもっとも人が集まる場所です。〈すぐれた文化を展開〉し〈人間的に魅力ある社会を持続的、安定的に維持〉する可能性を秘めているという意味で、まぎれもない「社会的共通資本」であると我々は考えます。

とりだい病院のある米子市を含めた山陰地方は、「過疎」「超高齢化社会」という日本が抱える問題が凝縮されています。一方、人との温かいつながり、自然など、都會にはない豊かさがある。問題を解決しつつ、豊かさをどう維持していくか——。先んじて未来の問題を解決できる場所なのです。

新型コロナウイルスは日本社会の変化を促すことになりました。リモートワークが進めば、住む場所を選びません。都市と別の視線を持つことが、ウイズ・コロナ、アフター・コロナ時代のニューノーマルとなるかもしれません。

カニジルは、ファクト重視、地方からの文化発信にこだわっていきます。

CONTENTS

循環器とは栄養物や酸素などを体内に運ぶ、そして体内から老廃物を集めてくれる器官だ。心臓の他、血管、リンパ節、リンパ管が含まれる。循環器内科ではこれらの器官——主として心臓を扱う。

少々ややこしいのは心臓や血管の名前のつく診療科に「心臓血管外科」があることだ。

「病院によつては循環器内科を心臓内科と呼んでいるところもあります。学会が循環器という言葉を使つてるので循環器内科を使うところが多い。不思議と心臓血管外科は循環器外科とは呼ばない。

ともかく心臓を扱う診療科は循環器内科と心臓血管外科の2つだけです」

内科は基本的に薬剤投与による治療、外科はメスなどを使った手術で治療すると区別してきた。近年、特に心臓に関してこの区分が曖昧になりつあると山本は言う。キーワードは「低侵襲」である。

開胸手術を行うと身体への負担——侵襲が大きい。侵襲を減らせば、手術後の回復も早く、社会復帰が容易になる。代表的な低侵襲治療が、ロボット支援手術、そしてカテーテル手術である。カテーテルは〈体内に挿入し、液を注入、排出するための管〉の意である。医学の現場でカテーテル手術は、血管を伝つて器具を患部まで運ぶ治療を指す。

「ぼくが大学を卒業する頃、カテーテル（の管）が太かつたせいか、まだ外科もやっていたんです。それがだんだん細くの人が非常に多かった」

施術するかどうかは、そのメリットとデメリットを鑑みなければならない。そのためかつては手術を選択するという決断は難しかった。

「今の植込み型補助人工心臓は小柄な日本人の身体にも埋め込めるぐらいの大きさになつていています。外のバッテリーとともに必要はありますが、担いで家に帰ることもできる。合併症も減つており、昔と比べると患者さんのQOL（クオリティ・オブ・ライフ）は雲泥の差だと思います」

前述のように心臓移植を行うのは比較的若い患者が少なくない。支えるべき家族がある、あるいはまだ将来があるはずの人たちである。

「心臓移植適応の患者さん含め、心臓病の患者さんについては、今ある治療法が当時はなかつた。あるいは、手順に則つてやつていたのに、非常に低い頻度だったはずの合併症が起きてしまつたなど、期待に応えることができなかつた患者さんの顔が頭に浮かんでくることがありますね」

チーム医療によつて、治療方法を変えずに「再入院」が半分になつた

広島で生まれ、大阪で学んだ山本が米

子の地を踏んだのは2011年7月のことだ。とりだい病院で感じたのは各診療科の「垣根」が低いことだった。

「大都市の大学病院と比べると」人が十

その一つである。とりだい病院のハートチームではTAVIは心臓血管外科が主導している。

「他のカテーテル手術のように、いずれのことになるかもしれない。カテーテルを使っていろいろな治療ができるようになります。将来は外科と内科の垣根がさらに不明瞭になっていくでしょうね」

心不全になりやすいのは高齢者という「誤解」

なり今では内科がやることが多くなつたという歴史があります」

医療に通じていない人間にとつてカテーテル手術は魔法のように映る。

まずは手首か太ももの付け根に局部麻酔を行い、専用針で血管に穴を開ける。この血管内に「挿入シース」という「管」を使って穴を広げる。医師はレントゲン映像を見ながらこの穴から、細く柔らかい針金状のガイドワイヤーを患部まで入れる。その後、ガイドワイヤーに沿わせてカテーテルを運ぶのだ。

例をあげると、心臓治療では経カテーテル大動脈弁留置術（TAVI）というカテーテル手術がある。

「人工弁を大動脈弁のところに置いてくる手術です。カテーテルを使えば、心臓を止めて胸を開けなくていい」

近年、医療の世界では「チーム」という言葉が多用される。循環器内科と心臓血管外科を合わせた「ハートチーム」も



一定レベルを超えたときに初めて、息苦しさなどの症状が出てくる

また心不全になりやすいのは、高齢者というのも誤解であるという。

「心筋症の中に、拡張型心筋症、肥大型心筋症などの種類があります。拡張型心筋症の正式な病名は、特発性拡張型心筋症。特発性についているのは、現在の医学では原因が解明されないといいう意味です。日本ではこの拡張型心筋症の患者さんが、心臓移植治療を受けることが多い。心臓移植手術が保険適用されるのは65歳まで。ぼくが見た中では20歳前後

の患者さんもいた」

心臓移植は亡くなつた方の心臓を埋めら

る臓器である。その重要性に比して認知が低いと感じることもある。

「心不全という言葉をよく使うことがあります。心臓が悪いことを指す場合が多くあります。心臓が悪いことを指す場合が多い。したがつて、医者にとって心不全といふことは心不全というのは病名でなく、動いたら息苦しくなるといった状態のことだからです」

心不全の原因となる病名としては、前出の弁膜症の他、心筋梗塞、心筋症、心内膜炎、心臓腫瘍などがある。

心臓に関する疾患はすぐに症状が出ないことが多い。

「異常はすいぶん前から始まつていただけれど、無症状で気がつかない。病気が

患者さんもいた」

心臓移植は亡くなつた方の心臓を埋め込む手術だ。心臓移植手術自体は、心臓外科医が執刀。循環器内科は、移植手術までを担当する。厄介なのは、心臓を提供するドナーが現れるまで待機しなければならないことだ。それまでは機械式補助循環装置——補助人工心臓を身体に埋め込むことになる。

「90年代の植込み型補助人工心臓は非常に大きかつた。アメリカなど体格の大きい方でなんとか入るぐらい。一般的に用いていた体外設置型の場合は、身体の外に補助人工心臓のポンプそのものが見えているような状態です。また横に冷蔵庫のような駆動器を置いて管をつなぐ。家に帰るなんてことはできませんし、ずっと入院になる。何らかの合併症が起きてしまつて移植手術にたどり着かないとい

う」と山本が心臓治療に惹かれたのは、「治療が上手くいけば、結果がすぐに出るから」だった。心臓はもつとも命に直結する臓器である。その重要性に比して認知が低いと感じるもある。

「心不全という言葉をよく使うことがあります。心臓が悪いことを指す場合が多い。したがつて、医者にとって心不全といふことは心不全というのは病名でなく、動いたら息苦しくなるといった状態のことだからです」

心不全の原因となる病名としては、前

出の弁膜症の他、心筋梗塞、心筋症、心内膜炎、心臓腫瘍などがある。

心臓に関する疾患はすぐに症状が出ないことが多い。

「異常はすいぶん前から始まつていただけれど、無症状で気がつかない。病気が

じるでないにも関わらず、である。

「医者が患者さんを外来で診るのはせいぜい月に1回か2回。それも短時間です。

それ以外の時間は患者さんなどのように過ごされているのか分からない。患者さんには治療の意味を理解して頂き、日常の生活でどれくらい注意できるか。現在の生活でどれくらい注意できるか。現在の生活で限られている。おのおの専門を持っているメディカルスタッフの特性

を活かして、レベルの高い医療を行なう。その意味で、垣根の低いとりだい病院にはチーム医療になじみやすい土壤があ

る。現場の医師、メディカルスタッフが

「サービス残業」をしていたからだ。

「ぼくらが新人のときは急性心筋梗塞の患者さんが運び込まれる度に呼び出されるのが当たり前でした。あのときは病院に入ってきた急性心筋梗塞のすべての患者は、現場の医師、メディカルスタッフが

「昔は場数を踏むことが情報を得る唯一の手段でした。今は情報を得られるツールがたくさんある。他の医療施設での事例を遠く離れていてもウェブ等で知ることができる。あとはそれぞれがどこまで

能够な範囲で情報を交換する」

文・田崎健太

1968年3月13日京都市生まれ。ノンフィクション作家。早稲田大学法医学部卒業後、小学館に入社。「週刊ポスト」編集部などを経て独立。著書に『偶然完全勝利新太郎伝』(球童伊良部秀輝伝)『スマートライター賞優秀賞』電通とFIFA『真説佐藤サトル』『真説佐藤サトル』(全身穿入)『ドラゴン』(スポーツアイデンティティ) (太田出版)など。小学校3年生から3年間鳥取市に在住。2019年、「カニジル」編集長に就任。

山本一博(やまと かずひろ)
1968年大阪大学医学部卒業。大阪大学医学部付属病院第一内科リサーチフェロー、大阪大学医学部第一内科、大阪大学臨床医学融合研究教育セータ担任教授を経て、2011年鳥取大学医学部病態情報内科学教授。2015年副病院長に就任。

1968年大阪大学医学部卒業。大阪大学医学部付属病院第一内科リサーチフェロー、大阪大学医学部第一内科、大阪大学臨床医学融合研究教育セータ担任教授を経て、2011年鳥取大学医学部病態情報内科学教授。2015年副病院長に就任。

アンナチュラルな死を解明、未来に繋げる



文・西海美香 写真・中村治

「法医学」の
世界

誰にも平等に訪れる「死」。しかし、その時をどう迎えるのか、われわれは誰も予想できない。
大多数のひとは柔らかい病気を患い、病院や自宅で医師に看取られながら命を終える。
それがいわゆる「ふつうの死」だ。すべての死のうち、およそ90%が「ふつうの死」といわれる。
それ以外の10%はアンナチュラルな死、つまり「異状死」なのだ。

この異状死の死因を医学的に究明し、法的判断の根拠として提供する法医学者の横顔、仕事、思いに迫る。

法医学者 飯野教授の 「事件簿」

2020年の統計によると、日本国内の死亡者およそ138万人のうち約17万人が異状死である。異状死には、事件や事故で命を落とす、または自ら命の幕をひいた死もこの中に含まれる。

「異状死は無数にある。病名がついて、病院あるいは自宅で医師に看取られて亡くなる。『ふつうの死』ではない死がすべて異状死（アンナチュラル）なんです」

そう説明してくれたのは、鳥取大学医学部法医学分野教授飯野守男だ。飯野

は、鳥取県内で唯一の法医解剖医である。

法医解剖医とは、捜査機関から運ばれてくる遺体を解剖し、その死因を究明する専門医だ。医師免許を持つが、病気の患者さんを診察、治療することはない。死体を専門に診る医師ということになる。

この法医解剖医は、国内にわずか150人しかいない。

「鳥取県では年間900体くらいの異状死があります。そのうち、われわれが解剖して調べるのは、およそ100体程度」

まず死体を検分するのは、捜査や法医学の特別な研修を受けた検視官である。この検視官が、法医解剖が必要と判断したときに、飯野のもとに遺体が運ばれてくる。

「このように、犯罪による死かどうか分からない場合でも、裁判所の令状や遺族の承諾なしに警察署長の権限で死体を解剖できるようになつた。では実際に法医学者はどのように死体を診るのか。飯野教授の記憶に残る死を振り返ってもらおう。

Case ② 車にはねられた人が入院

し、警察は病状の把握と本人から事故の状況を訊くために何度も病院に掛け合つたが「治療中だから」と面会を断わられた。しばらくしたら、突然「あの人、死にそうです」と病院から警察に連絡があり、その翌日になくなってしまった。遺体を解剖すると、事故による骨盤骨折があり、入院中

法医解剖は2種類。一つは、刑事訴訟に基づく「司法解剖」だ。事件性が疑われる場合に死因などを究明するために行なわれる。つまりは、裁判の証拠集めだ。例えば、刺殺事件において、加害者の供述どおり、凶器で刺して死に至ったのかどうかという因果関係を客観的に証明するのだ。

もう一つは、2013年に制定された「死因身元調査法」に基づく解剖だ。呼称は都道府県によって「調査法解剖」「新法解剖」など、さまざまだという。これは、これまで「ふつうの死」として扱われていたもののなかに、自殺にみせかけた他殺など、事件の見落としが多くあつたため、新たにうまれた法律だ。

この法律が制定されるきっかけの一つになったのが、2007年に起きた「時津風部屋力士暴行死事件」だ。救急搬送された病院で急性心不全と診断されたが、遺体に残された外傷などから不審に思つた両親が地元の大学に解剖を依頼したことで、暴行により死に至つたことが発覚した。

このように、犯罪による死かどうか分からない場合でも、裁判所の令状や遺族の承諾なしに警察署長の権限で死体を解剖できるようになつた。では実際に法医学者はどのように死体を診るのか。飯野教授の記憶に残る死を振り返ってもらおう。

車にはねられた人が入院

し、警察は病状の把握と本人から事故の状況を訊くために何度も病院に掛け合つたが「治療中だから」と面会を断わられた。しばらくしたら、突然「あの人、死にそうです」と病院から警察に連絡があり、その翌日になくなってしまった。遺体を解剖すると、事故による骨盤骨折があり、入院中



解剖室での飯野教授(中央)と中留准教授(左)、ブータンからの留学生ダワ・ザンボ(右)

されている。例えば、解剖謝金の場合、鑑定医が教授だと1時間9,360円。

彼らの抛り所は犯罪を見逃さないといふ正義感、そして医療者、科学者として何が正しいかを検証するという使命である。

Case 3

夫婦と20代の娘さんの3人家族が住む家で火災が起きた。1階で趣味のオートバイいじりをしていた父親がうつかりガソリンをこぼし、そこに引火したのだ。父親は逃げて助かつたが、家の中にいた奥さんと娘は間に合わず亡くなってしまった。1人は玄関先で発見され、もう1人は3階の娘さんの部屋で発見された。警察の所見では、火災発生時にキッチンにいた奥さんが玄関先で、娘さんは3階の自室で亡くなつたのだろうということだった。しかし、解剖を開始する前に法歯学者（藤本秀子歯科医師／現鳥取大学特任准教授）が「これは違う」と指摘。遺体の歯を見た瞬間に20代と50代が入れ替わっていることが分かつたのだ。解剖をするすると、藤本の指摘通り、玄関先の遺体が娘さんで、3階で発見された遺体が母親だと判明した。

父親の話では、娘さんはもう間もなく結婚予定で、自室に結婚資金を置いていたのだという。おそらく、母親が娘を先に逃がし、お金を取りに3階に行つたのではないかと推測された。



内から多くの歯科医が集められ、「歯」が個人識別に活用されたというニュースをご覧になつた方も多いだろう。

藤田保健衛生大学（現藤田医科大学）を経て、長崎大学で研究を続けていた2017年、その頃、既に鳥取大学医学部法医学分野教授となつていた飯野から「こちらに来て、Ai（オートプシー・イメージング）をつかつた研究をサポートしてほしい」と声を掛けられ、鳥取に赴いた。

Aiとは、死亡時画像診断のこと。CTやMRIを用いて撮影し、遺体内部の情報を得る。解剖の要否判断や死因究明の精度向上に有用とされる。法医学の最先端ともいわれるオーストラリア・ビクトリア州では、異状死の場合、Aiが解剖前の予備検査として義務付けられ

ている。

飯野は、2008年からおよそ1年間、このビクトリア州のビクトリア法医学研究所の客員研究員として、Aiを活用した死因究明について研究。鳥取大学では2018年にAiを導入した。

中留は、飯野とともに法医解剖をしながら、予防法医学にも力を注いでいる。なかでも自殺を踏みとどまらせる方策がないかと、学生たちと一緒にフィールドワークを重ねながら取り組んでいる。

「明らかに自殺と断定されない事例は、死体検案書のなかで『その他』に分類されれるんです。年間の自殺者のデータには反映されないので、実際はもっと多いと思います」

都市部と違つて高層の建物がない鳥取県では、谷や海にかかる橋からの飛び込みが解剖前の予備検査として義務付けられることが多い。しかし、入浴時の死亡原因で多いのは、実は「熱中症」なのだと飯野は言う。

追い炊き機能付きの温水器が普及し、設定温度を長時間保つことができるようになった。高温設定したお湯に長くつぶることで血管が拡がり、血圧が低下する。のぼせていることに気付かないまま、意識がなくなり溺れてしまうのだ。この場合の死因は「溺水」とされる。

お風呂で亡くなつた高齢者の画像を参考にと見せてくれた。まさかこの後、死

が待ち受けているとは予想もしなかつただろう穏やかな顔がかえつて痛々しくも思えた。

「家族が何分かごとに声をかけてあげたら、温度を少しずつ下げる機能が付いていたら、この人たちは死なずに済んだんです」

そして、昨年からは救命救急センターとの合同カンファレンスを開始した。救急医療の現場では一刻を争いながら治療しなければならない。そこで残念にも亡くなつてしまつた方を法医学で解剖する」と、病気の要因が見つかることもある。それが次の救急医療に繋がるのだ。

命の灯が消えてしまつた身体を診る医師は、その死因究明をすることで大きな社会的役割を担つてゐる。一方で、その肩には、医療の未来も担つてゐるのだ。想いはただ一つ、——防げる死を防ぎたい。

中留 真人

1968年広島県呉市生まれ。1985年の日航機123便墜落事故のニュースで身元特定に歯科所見が用いられていることを知り、法歯学者を目指す。島大歯学部卒業。大阪大学、藤田保健衛生大学、長崎大学で勤務後、2017年に鳥取大学医学部法医学分野准教授に就任。

される。ホームレスの男性を利用し

Case 4

た保険金殺人が10年以上前に大阪で起こつた。犯行グループはあるホームレスの男性を誘い、養子縁組したうえで多額の生命保険を掛けた。その後、事故に見せかけて彼を殺そ

うと車で撲いたが、いつたん命は取り留めた。事故の保険金を手にした後、再び彼を殺し遺体を山に埋めたのだ。殺害から1年経ち被害者の骨だけが見つかた。骨からどう身元を調べようかと考えたときに、以前事故で撮つたCT画像と照合することを思いついた。やってみると、骨にあつた特徴も画像でぴったり一致し、ホームレスだった男性だと断定できた。

このような骨や火災現場の真っ黒焦げで身元もわからない遺体の特定には「スーパーバインボーズ」という手法が使われる。これはcase 4で飯野が編み出したものだ。現在では5分程度で解析。世界中で活用されている。

飯野には、相棒とも相談相手ともいえる人物がいる。法医学分野准教授中留真人だ。大阪大学で大学院生だった飯野の指導担当をしていたという中留は、法歯学者で、歯学の立場から法医解剖に立ち会う。2011年の東日本大震災で国



高度救命救急センター上田敬博教授と死因について意見を交わす。

医師は「免疫力」という言葉を使わない?
発酵食品が有効?

知つておきたい

免疫のホント

コロナ禍において、しばしば話題にあがるのが、「免疫」という言葉。新型コロナウイルスのために「免疫力」を上げなければならない。そのためには「免疫力」を上げる食べ物を摂取しましょう、といった類いだ。そもそも免疫とは何なのかー鳥取大学医学部生命科学科で免疫学を担当する常世田好司教授に聞いた。

取材・文 中原由依子
イラスト 矢倉麻祐子

免疫の機能は3つ

「疫」を「免れる」と書いて免疫。免疫とは、疫病（感染症・伝染病）からまぬがれる、すなわち病原体から体を守るためにの仕組みである。何重にも防御システムが働き、関係する細胞の種類が多いため、理解することは非常に難解だ。

「免疫には攻撃・抑制・記憶の機能があることをまず覚えてほしい」と常世田は前置きました。

身体に病原体などが侵入すると、生体反応として炎症が起きる。そしてその炎症に対し3つの機能が作動すれば、初回こそ治癒に時間を要することもあるが、二度目は、以前の記憶から、すぐさま反応して炎症を起こすこともなく対処できることをまず覚えてほしい」と常世田は

るようになる。

この状態を「免疫がついた」と表現する。この応用がワクチンである。

昨今、我々を悩ませている新型コロナウイルス——感染症を例にして考えてみよう。

感染症を引き起こす主な病原体は、細菌とウイルスの2つ。これら病原体が身体に入ると、まず皮膚や粘膜といったバリア機能が働く。そこで防げなかつた場合、次に働くのが免疫細胞だ。

実は人間の身体には、新型コロナウイルスをはじめ、すべての病原体に対する免疫細胞が備わっているという。その種類は何億、何兆種類である。だとすれば

免疫細胞があれば、人間の身体は防御されている、はずである。

ここで問題なのは、一つひとつのが病原体に対する身体の中の免疫細胞の数が少なくまだ未熟であることだ。

「ある病原体に対する免疫細胞が、抗原提示細胞からの情報で『自分の出番だ』と認識すると、攻撃に向かうためにその数を増やし、成熟していきます。皮膚や粘膜などのバリア機能が働くのは、ある意味、免疫細胞の数を増やすまでの時間稼ぎでもあるのです」

病原体が身体に入ると、それを排除しようとして発熱や痛み、倦怠感など様々な症状が現れる。それらのほとんどは免疫反応であると考えられている。

発熱は免疫細胞が活性化するための副

作用と考えて欲しい。

細菌やウイルスは、身体が高熱になると勢いが急激に落ちる。一方、免疫細胞は熱が上がるほど力を増す。あまりにも早い段階で解熱剤などを飲んでしまうと炎症が焼けた状態で長引いたり、うまく記憶されず、同じ病気にまたかかつたりしてしまうことがある。

「ワクチン接種で鎮痛薬を服用すると、免疫記憶ができない」ということが先日もニュースで取り上げられていました。やはり、身体から発せられるアラートは深い意味があることを理解しなくてはいけません」

また、免疫細胞が活性化する際には、糖と酸素を消費する。

風邪で体が痛い、倦怠感を感じたりす

ることは、正しい使い方とは



免疫には攻撃、抑制、記憶の機能があり
体内の炎症に対処している。

小山 哲史さん
医師(耳鼻咽喉科・頭頸部外科)

番長CHECK!!

白パーカーとネイビーコートの小山先生のさわやかな着こなしさは、女性陣から大好評。足下からのぞかせた靴下の水色がおしゃれなアクセントに。

『すらっとした自分のスタイルに似合う服を選んでいらっしゃいますよね』(マリーナ)

『とにかく色合わせが絶妙。白、ブラウン、ブルーの配色の見せ方にうなりました』(編集〇)

尾崎 加苗さん
医師(病理診断科)

番長CHECK!!

「流行のアイテムは、長く使えないから取り入れない」のがファッショナボリューという尾崎先生。撮影日は大雪が降っていたため、ボリューミーなあったかポンチョスタイル。くるぶし丈のパンツですっきりバランスをとっています。

『講義の時もいつも個性的なおしゃれで、女子学生のファンが多いんです』(イノー)

FASHION CHECK とりだい病院★ ファッション チェック!

メディカルスタッフは病院内では
みな白衣やスクラブなどユニフォーム姿。

でも実はおしゃれな人が多いんです！

とりだい病院スタッフの普段着を、
ナゾのファッション評論家
「ドン・クロサキ」たちが論評。

みんなのファッションの参考になる、
かも。

細川 雅代さん
医師(女性診療科)

番長CHECK!!

一見普通のワンピース。でもプリーツ部分の切り替えや、前と後ろの丈が違うなど、こだわりがつまっている。あわせたファーベストも華やか。

『靴も本当にかわいい。もともこの部分がいろんなカラーになっているのがよいですね』(イノー)
『フェミニンな感じがご本人に似合ってます。ベルトとブーツの黒で、甘いだけじゃない着こなしになっているのが素敵』(マリーナ)

あなたの
オシャレを私たち
がチェックします！

これがとりだい病院の(自称)ファッション番長、
別名「クロサキズ・エンジェル」だ!!

イノーちゃん：いつも元気で密かに辛口。なぜか病院内にネットワークを持つ。医学部医学科の学生という噂。(左)
ドン・クロサキ：正体は不明。角盤町で洋服を買い込んでいる姿が目撃されることもある。
マリーナ：ドン・クロサキが一目置く、白衣のファッショニスタ。ちょっと水トアナ似(?)。(右)

取材・井野寿音 構成・大川真紀(編集〇) 写真・中村治

言えない。

免疫機能の維持に必要なこと

新型コロナウイルスにおいても、免疫力を高めるという言葉をよく耳にする。この「免疫力」という言葉は、医療用語ではない。そして、定義が曖昧だ。

身体を休めることによって、糖や酸素が免疫細胞の活性化に使われる。

酸素については血管が関係している。血行が悪く、末梢の血管まで酸素が届かない状態があると、免疫細胞がいざといふ時に闘えない。「冷え症の人であれば足や体を温めること、お肉をあまり食べない人ならば、タンパク質を別の方法でとることが、免疫機能を維持するためには必要かもしれません。個人個人で違うので、何が足りていいのかなど、自分の体の状態を深く知ることが大切です」

「免疫力」を上げるには発酵食品がいいと耳にすることがある。発酵食品にはタンパク質を構成するアミノ酸が含まれている。また腸はもともと細菌が多く炎症の起きやすいところ。

そのため腸内環境を整えることは、免疫機能を保つためにも大切だ。また忘れてはならないのは、加齢により免疫細胞の働きが鈍化することだ。免疫細胞は骨髄で作られている。そして、特に病原体に反応する細胞や炎症を抑える抑制系の免疫細胞は、胸腺という組織で成熟する。しかしこの胸腺は、思春期をピークに、その後は年齢とともに退化していく。高齢になるとつれて、病気にかかりやすく炎症が長引くことがあるのはそのためだ。

「生物学的に人体は、おそらく思春期までが外敵への備えが万全となるように作られているのかもしれない」

昨日、免疫の老化が身体の老化につながることが分かっている。しかし、どうやって免疫の機能を維持していくかは研究中である。老化した細胞を除去して、若い細胞に入れ替えるといった研究も進んできているという。

常世田は最後にこう呼びかける。「免疫を第2の自分と捉え、もつと大事に付き合っていくことが重要。日本の社会は医者に任せすぎ。自分の身体、免疫、健康のこともう少し自ら学ぶことが必要なのでは」

自分を守るのは自分の免疫なのである。



そのため腸内環境を整えることは、免疫機能を保つためにも大切だ。

また忘れてはならないのは、加齢によ

り免疫細胞の働きが鈍化することだ。

免疫細胞は骨髄で作られている。そし

て、特に病原体に反応する細胞や炎症を

抑える抑制系の免疫細胞は、胸腺という

組織で成熟する。しかしこの胸腺は、思

春期をピークに、その後は年齢とともに

退化していく。高齢になるとつれて、病

気にかかりやすく炎症が長引くことがあ

るのはそのためだ。

「生物学的に人体は、おそらく思春期ま

でが外敵への備えが万全となるようにな

る」

宮代 浩子さん
看護師 (6A病棟)

👉番長CHECK!!

春だからデニムを選んだという宮代さん。レイヤードしたギンガムチェックが映えて、さわやかな着こなしに。「ワンピースは脱ぎ着が楽なのでよく着ます。おしゃれボリュームは楽なこと」と笑います。

『スリッポンタイプのぽっこりした靴に短めソックスを合わせた足元がよいですね』(マリーナ)
『明るめデニムの色がありそうでない感じ。とても似合ってます』(イノー)

深田 敦子さん
看護師長 (医療安全管理部)

👉番長CHECK!!

着こなしのテーマは「おば・かわいい=年齢を重ねてもかわいらしさを」という深田さん。春を意識しつつ、実は冷え対策はバッチリのスタイルなのだそう。

『タートルに厚底靴ってすごくかわいい』(マリーナ)
『ショートヘアを活かしたバランスが素敵』(イノー)

貝谷 紀枝さん
看護師 (7B病棟)

👉番長CHECK!!

ホワイトベースにデニムアウターのブルーが目を引くスタイリングの貝谷さん。撮影日は気温が高めだったので温度調整がしやすいものを選んだのだそう。太めボトムなのに重さを感じさせないさわやかな印象のスタイルです。

『小柄な方ですが、縦にバランスをとって低さを感じさせないバランスがうまいと思います』(マリーナ)
『ボーダーだけど横長にならない、すらっと見せる着こなしがいいね』(ドン・クロサキ)

吉田 賢史さん
医師 (放射線治療科)

👉番長CHECK!!

コーデのポイントは「普段着なので特ないです」という吉田先生。ご自身のおしゃれよりも、背景に写っている新規導入の放射線治療機器を見てほしいそうです。さまざまな質感のアイテムを、統一感のある色でまとめているのがさすがです。

『レイヤードしたチェックシャツの色が着こなしを際立たせてくれますね』(ドン・クロサキ)
『大人の上質カジュアルといった感じ。おしゃれがこなれてる感じです』(編集〇)

高田 有花さん
助産師 (3AD病棟)

👉番長CHECK!!

パーク、リュック、スニーカーを合わせた軽快なスタイル。「自転車通勤なので、漕ぎやすい服装にしています」デニムアウターの切りっぱなしの裾と、スニーカーのワンポイントの赤が、シンプルな中にビリッとしたアクセントになっています。

『ナチュラルな中にも、個性を感じさせるアイテム選びがさすが!』(編集〇)

橋本 祐樹さん
臨床検査技師 (検査部)

👉番長CHECK!!

「大人のスタジアン」がコーディネートのポイントという橋本さん。「このスタジアンは、オーダーメイドでつくった世界で一着の組み合わせのもの」なのだろう。裏地はなんとダルメシアン柄。見えない部分にもこだわるおしゃれ上級者です。

『第二ボタンだけメタリックになっていたり、袖のレザーの切り替え、スマートなシルエットとか、スタジアンに見えないのがいい』(イノー)
『僕もこのスタジアン、オーダーのではないですが、2種類持っています』(ドン・クロサキ)

和田 崇さん
理学療法士 (リハビリテーション部)

👉番長CHECK!!

さらっと羽織ったダウンにデニムと、正統派の大人力ジュアル。実は組み合わせたアイテムは、素材やシルエットにひねりがあるものばかり。甲の部分にムートンファーを合わせたチロリアンシューズがポイントです。

『カーキアウター、セーターの柄、靴の色で統一感を出しているのがすごくおしゃれ』(マリーナ)
『ひとつひとつのアイテムにこだわりを感じる。ダウンなのにすっきり着こなしてすごい』(イノー)

多智花 翔さん
診療放射線技師 (放射線部)

👉番長CHECK!!

普段からきれいなスタイルが多いという多智花さん。この日はナイロン素材のコート、スラックス、ブーツを黒で統一しつつも質感の変化でメリハリあるスタイルに決めていました。表情にも注目。

『普段のユニフォーム姿からは想像ができないギャップがいい』(ドン・クロサキ)
『色白な方だから、黒がすごく映えますね。肌に似合う色をわかっているらっしゃる』(イノー)

松尾 紀子さん
医師 (救命救急センター)

👉番長CHECK!!

着心地のいいシャツとデニムを、ムートンブーツにインしたスタイル。襟や袖のあしらい方におしゃれの工夫を感じます。

『シンプルだから、姿勢のよさや鍛えておられるスタイルが引き立ちますね』(ドン・クロサキ)
『ご本人のたたずまいがとにかくかっこいい。生き方がおしゃれに現れている感じがします』(編集〇)

若原 誠さん 細谷 恵子さん
医師 (乳腺内分泌外科)

👉番長CHECK!!

「クレリックシャツが好きなんです」(若原先生)「お気に入りジャケットできました」(細谷先生)というお二人はなんとご兄弟! 若原先生の靴の色と、細谷先生のスカートの色がマッチして、おしゃれのコンビネーションもさすがです。

『とにかくさわやか。お二人の仲のよい関係性が見えるたたずみがよいですね』(編集〇)

コロナ禍の
看護師たちとの交流

原田 エリーさんの絵、制作途中から何度も見に来ましたが、本当にいいですね。病院の壁に作品を描くのは初めてだつたんですか？

大宮 ええ。ずっと病院やホスピスに絵を描けたらいいとは思っていたんですね。自分の絵で患者さんや医療従事者の方に元気になつてもらえたと。それが鳥取で実現するというは想定外でした。なぜ鳥取？って（笑）。

原田 このプロジェクトは、昨年10月にエリーサンに病院へ来ていたいたことから始まりました。新型コロナウイルス対策のために、病院関係者は会食を控え、県外への旅行もできなくなつたんです。看護部から何かストレスを発散できる院内イベントを開催してほしいという依頼がありました。そこでエリーさんをお呼びすることにしました。

大宮 「笑えるトークショー」と広報の方に言われたんです。じゃあ、芸人さんに頼んだほうが間違いないですよって答えたんですね。でもどうじゃなくて、以前、島根のイベントで見たような、インターネットティープにお話しし合おうような、ゆるいトークショーフておつしやるので。そうか実際に、私のイベントをご覧になつていたんだということで引き受けることにしました。

大宮 エリーさん、ずつと病院やホスピスに絵を描けたらいいなとは思っていたんですけど、点滴置いておきますって（笑）。

原田 病院内だからお酒は出せませんけど、点滴置いておきますって（笑）。制服姿の看護師さんとお医者さんがずらーっと座っている。目の前に原田病院長がでんと。怖かったです（笑）。

大宮 みんなエリーさんに会いたかったみたいで、盛り上がりましたね。印象的だったのが、「コロナ禍になつて先が見えない、どうしたらいですか」って質問に対するエリーさんの答えでした。

大宮 看護師長さんでしたね。えつ、そんなこと私に聞く？って（笑）。困ったなと思つたけど、ふと私から素朴な疑問が。で、逆に質問したんです。「では、コロナになる前は先が見えていたんですね」って。そうしたら、「えつ」という顔になつて「見えていなかつたです」って。だから、こう言つたんです。「ここにいらっしゃる皆さんは先の見えない仕事に好んでついた変態なんだ！」って。

原田 みんな爆笑でした。

大宮 イベントの後、病院長に私の画集をお渡したら、パラバラと見て「エリーさん、病院で絵を描いてよ」って。そのときは本当にやるとは思つていなかつたんです。東京に戻つてしまふらしくしたら正式に絵を描いて欲しいという連絡が。えつ、一回打ち合わせさせてください

薬学部へ
父親を救いたいという思いで

原田 エリーさんは東京大学薬学部を卒業。今なされている仕事と全く違いますよね。

大宮 本当にやりたかったのは地球の環境保護、植物の研究者になりたかったんです。そんなとき、病気がちだつた父親に発作が起きたんです。救急車で運ばれて、一歩遅かつたら死んでいたと言わされました。そのときもできなかつた自分が歯がゆかった。地球を救う前にお父さんを救わなきやつて、進学先を薬学部

にしました。ところが気持ちは純粹でしたけれど、入学してみたら全く授業についていけない。

原田 医療とは縁があつたとも言える。（首を振つて）私、病院、嫌い。ここで、そんなこと言つちやいけないか（笑）。でもあんまり好きじやないのは事実。ちょっと身体の調子が悪いと病院に行くんいるじやないですか？ 私は全然行かない。

大宮 小学校のとき母が病気になつたんです。そのとき風邪だつて言われて寝てればいいって。別の病院で診てもらつたら肺炎だと判明したんです。早くわかつていれば重くならずに済んだのですが。それからずいぶん後、母が子宮筋腫になつたんです。お医者はすぐに手術して切れと言つた。ところが別の病院で、切らなくともいいと薬をもらつたら良くなつた。

原田 婦人科の医師として答えると、お母様の生理の出血量が多かつたんでしょう。年齢、閉経もあって薬でコントロールできるようになつた。オペ（手術での切除）、投薬治療、どちらも正解なんです。オペならば一回で終わる。時間をかけて薬でコントロールしていくか。

大宮 私たちは素人だから。なので、最初から選択肢がわかるといいんですけどね。



「患者さんにも職員にもやさしい病院」を目指し、
ホスピタルアートに取り組んでいるとりだい病院。

2022年3月、新たなアートが病院の顔である外来玄関に設置された。
描いたのは、大宮エリーさん。東大薬学部で学び、一度は医療者を目指した大宮エリーさんが
病院という場で、どういう想いでアートを制作したのかを聞いた。

原田 今はロボット支援手術や腹腔鏡手術などが漫長の少ない、つまり身体に負

大宮 患者さんが「他の手段」を聞きやす
い環境が全国に広がつてまし
ます。ただし、大切なのは患者さ
んの気持ちです。二つの選択肢を患者さ
んに示して「どうしますか」って言わな
きやいけない。それが今の医療の流れで
す。

ここ 米子から……。
原田（腕組みして）確かに手術が好き
な医者というのもいます。そういう人は
手術を勧めがち。本当は、私はこの手術
は得意だけれど、薬という選択肢もある。
薬の得意な医師を紹介しますという連携
があればよかつた。自分が得意な治療法
に患者を付き合わせてはならないんです。
大宮 エッセーに面白いから書いたん
ですナレッジ、本調査を崩して病院に行つて

と言つたら、「風邪かどうかは医者が決めるんです」とムッとされちゃつて。謝りつつ、こんな症状ですが、なんだかわからんなんです、つて言い直したんですね。

原田（苦笑いして）無駄にプライドが

う」という話になつた。私は「えーっ」、
て（笑）。でも、飛び込んでみようと。
震災があつて一回流れた。でもまたパル
コミュニージアムの新担当の方がやつてきて
て、「やりましょう」って。「えつ、覚え
ていたんですか」って（笑）。

原田 テーマは何か決まつっていたんで



医者は言葉で、画家はアートで、
癒し、力を与える。

原田 ところで、エリーさんって、作家であり脚本家であり映画監督でもある。そのエリーさんはなぜ画家になつたんですか？

大宮 東日本大震災前、パルコミュージアムの方から「エリーさん、いろいろな仕事していますけど、アートだけはやつていませんよね、展覧会やりましょう」とて言われたんです。私、何も作品ありますせん、つて答えたら、「じゃあ作りましょ

ておっしゃってください。着物姿でが
ぶ飲みして描いたら、ウケたというか
(笑)。絵もたまたま良かつたそうで、ベ

ネツセの会長で、瀬戸内国際芸術祭のプロデューサーでもある福武總一郎さんの所蔵になつたという（笑）。

大宮 うーん、そこに私はいないとい
う感覚がする。絵にパワーがある。
絵を描いているときは、何かに筆を持つ
手が動かされているみたいな感じなんで
すか。

う感じです。私は無になつていて、自然界からいただくパワーを転写して絵にしているだけです。今回、患者さんに見守られながら描きました。海から太陽が昇る絵は、生きるエネルギーと、今という喜び、そして天から無限に降り注ぐ愛を転写しようと決め、一心不乱に描きました。それを見ていた患者さんが、別れ際こう言つて下さいました。「希望の光をう

原田 素晴らしいアイデアです。目の前の大宮のドアが自分の選んだ鍵で開くとなんだか自信がわいてくるような気がします。

は、とあるハブニングから。私の舞台装
置的な作品がある大きなパーティーで展
示されることに。ですが、打ち合わせで、
担当者の方から、相談されたんです。「実
は明日、ライブペイントをする海外の
アーティストがこれなくなつてしまつた。
すごく困つてゐる！エリーさんしかやつ

「大宮（大きく首を振つて）まつたく。
「小学校の写生大会で、消防自動車を描
原田 ライブペインティングとは、そ
の場で絵を描くパフォーマンス。そのと
き、絵を描いていたんですか？」

いた以来ですよ?」って答えたんです。そうしたら「それでもいい」って。もうやるしかないって。そしたら会場にいらした、(建築家の)安藤忠雄さんが、「もうワインでも飲んで描くしかないよ」つ



1958年兵庫県出身。鳥取大学

東京大学薬学部卒業。2012年、東京国立博物館で行われたモンブラン国際賞の福武總一郎氏の受賞セレモニーで急遽依頼されたライブペインティングから画家のキャリアがスタート。2016年には美術館での初の個展「シンシアリー・ユアーズ」(千和田市現代美術館／青森)を開催。同時に商店街を使ったパリックアートも手がける。また十和田市の水力発電所、奄美大島のことでも図書館、妹島和世氏による家プロジェクトなどで壁画作品も制作。2019年には香港、ミラノ、パリにて、2022年にはロンドンのギャラリーブラキアにて個展を開催。瀬戸内国際芸術祭2022でも出展作家として大島に作品を発表。

1958年兵庫県出身。鳥取大学医学部卒業、同学部産科婦人科学教室に入局。英國リーズ大学、大阪大学医学部第三内科留学。2008年産科婦人科教授。2012年副病院長。2017年鳥取大学副学長および医学部附属病院長に就任。串باحثさんと共に「くるトップブランド」病院を目指し、未来につながる医学の発展と医療人の育成に努めながら、患者さん、職員、そして地域に愛される病院づくりに積極的に取り組んんでいる。好きな言葉は「置かれた場所で咲きなさい」

原田 エリーさんと話をしていると、ムンテラっていう言葉が頭に浮かんてくる。元になつてているのはドイツ語の「ムントテラピー」。ムントとは口のこと。言葉で治療するという意味です。昔はよく「医者はムンテラが大事だから」と言われました。手術をする、薬を投与するのはもちろんですが、医療従事者は、患者さんを癒やす、力を与えることが大切。



もし、あのとき “とりだい病院”に 入院して、いたら

第二回

第三回

第四回

川上弘美さんの「天頂より少し下つて」や、西加奈子さんの「漁港の肉子ちゃん」など。心身ともに疲弊していた私は、差し入れの本を貰うように読んだ。

「天頂より少し下つて」は、あたたかさ声をかけていたことが増えた。医療のいの字もない上にかなり個人的なことが綴られているので、正直、私のページは読み飛ばされるだろうと思つていた。多くの方が読んでくださつて、本当にありがたい限りだ。どうか今回も、最後までお付き合いいただきたい。

前回のコラムが掲載されてから、お店で声をかけていただくことが増えた。医療のいの字もない上にかなり個人的なことが綴られているので、正直、私のページは読み飛ばされるだろうと思つていた。多くの方が読んでくださつて、本当にありがたい限りだ。どうか今回も、最後までお付き合いいただきたい。

うちを訪れるお客様は、ほとんどが外来の患者さん、もしくはそのご家族だが、入院中の方も時々来てくださる。入院着で本を選んでいらっしゃるのを見かけると、無事退院できますようにと祈る一方で、私もここに通えたらよかつたのになと、ついついつつてしまう。

うちを訪れるお客様は、ほとんどが外来の患者さん、もしくはそのご家族だが、入院中の方も時々来てくださる。入院着で本を選んでいらっしゃるのを見かけると、無事退院できますようにと祈る一方で、私もここに通えたらよかつたのになと、ついついつつてしまう。

時は2018年の暮れ、私が小説家としてデビューする前にさかのぼる。身体が丈夫だと自負していたが、思いがけず健康診断に引っかかり、とりだい病院ではない、別の病院に入院し手術をすることになった。人生初の体験、しかも2週間ほど療養期間をいただけるということで、妙なスイッチが入った。

「時間がたっぷりあるんだし、読んだことない名作にも挑戦してみよう。この機会にしっかりと勉強して、絶対ステップアップ

するぞ！」

いそいそと本を買い込んでは鞄に詰め、鼻息荒く病院に乗り込んだ……のだが、結論から申し上げよう。無理だった。もしダメマシンがあれば、何がステップアップだよと、当時の自分の頭を叩いてやりたい。

もちろん、入院中でも熱心に勉強できる方は、大勢いらっしゃるだろう。だが、勤勉でない上に、麻酔が切れてひいひい言つていた私には、難しい文章を読んでその内容を理解するなど、とてもできなかつた。結局、3日と経たず本を投げ出してしまった。

この、無謀とも言える計画に頓挫すると、一気に暇になつた。

まず、自由に出歩けない。テレビ番組は特に観たいと思わない。ゲームも普段からしない。音楽もそんなに聴かない。SNSで楽しそうな投稿を見かけたら、術後ボロボロになつている自分との差に落ち込みかねない。夜眠れなくなるから(21時消灯に体内リズムが順応できなかつた)、安易に昼寝するわけにもいかない。娯楽らしい娯楽がなかつたので、一日が非常に長く感じた。

退院する2日前。とうとう我慢の限界に達し、母に頼んで、自宅から何冊か本を持ってきもらつた。そのラインナップは、今もよく覚えている。私が最も敬愛する作家、

おそらく本は持参せずに、最初からカニ

ジルブックストアで調達していただろう。

その場合、夢中になれる本を他にも見つけたかもしれない。あるいは、難しい本に手を出して挫折するという、まったく同じ道を辿つたかもしれない。もし後者だったら、未だデビューできていなかつた可能性も、大いにありえる。

しょせん仮の話だから、どうなつていた

かなんて、考えたところでわからない。それでも、本を選んでいる間は非常にわくわくしている方があつたから、もう少し読む予定がない方でも大歓迎だ。

ひとりだい病院1階、タリーズコーヒーの隣で今日も、皆さまのご来店をお待ちしております。

川上弘美さんの「天頂より少し下つて」や、西加奈子さんの「漁港の肉子ちゃん」など。心身ともに疲弊していた私は、差し入れの本を貰うように読んだ。

「天頂より少し下つて」は、あたたかさ声をかけていたことが増えた。医療のいの字もない上にかなり個人的なことが綴られているので、正直、私のページは読み飛ばされるだろうと思つていた。多くの方が読んでくださつて、本当にありがたい限りだ。どうか今回も、最後までお付き合いいただきたい。

うちを訪れるお客様は、ほとんどが外来の患者さん、もしくはそのご家族だが、入院中の方も時々来てくださる。入院着で本を選んでいらっしゃるのを見かけると、無事退院できますようにと祈る一方で、私もここに通えたらよかつたのになと、ついついつつてしまう。

時は2018年の暮れ、私が小説家としてデビューする前にさかのぼる。身体が丈夫だと自負していたが、思いがけず健康診断に引っかかり、とりだい病院ではない、別の病院に入院し手術をすることになった。人生初の体験、しかも2週間ほど療養期間をいただけるということで、妙なスイッチが入った。

「時間がたっぷりあるんだし、読んだことない名作にも挑戦してみよう。この機会にしっかりと勉強して、絶対ステップアップ

するぞ！」

いそいそと本を買い込んでは鞄に詰め、鼻息荒く病院に乗り込んだ……のだが、結論から申し上げよう。無理だった。もしダメマシンがあれば、何がステップアップだよと、当時の自分の頭を叩いてやりたい。

もちろん、入院中でも熱心に勉強できる方は、大勢いらっしゃるだろう。だが、勤勉でない上に、麻酔が切れてひいひい言つていた私には、難しい文章を読んでその内容を理解するなど、とてもできなかつた。結局、3日と経たず本を投げ出してしまった。

この、無謀とも言える計画に頓挫すると、一気に暇になつた。

まず、自由に出歩けない。テレビ番組は特に観たいと思わない。ゲームも普段からしない。音楽もそんなに聴かない。SNSで楽ししそうな投稿を見かけたら、術後ボロボロになつている自分との差に落ち込みかねない。夜眠れなくなるから(21時消灯に体内リズムが順応できなかつた)、安易に昼寝するわけにもいかない。娯楽らしい娯楽がなかつたので、一日が非常に長く感じた。

退院する2日前。とうとう我慢の限界に達し、母に頼んで、自宅から何冊か本を持ってきもらつた。そのラインナップは、今もよく覚えている。私が最も敬愛する作家、

おそらく本は持参せずに、最初からカニ

ジルブックストアで調達していただろう。

その場合、夢中になれる本を他にも見つけたかもしれない。あるいは、難しい本に手を出して挫折するという、まったく同じ道を辿つたかもしれない。もし後者だったら、未だデビューできていなかつた可能性も、大いにありえる。

しょせん仮の話だから、どうなつていた

かなんて、考えたところでわからない。それでも、本を選んでいる間は非常にわくわくしている方があつたから、もう少し読む予定がない方でも大歓迎だ。

ひとりだい病院1階、タリーズコーヒーの隣で今日も、皆さまのご来店をお待ちしております。

川上弘美さんの「天頂より少し下つて」や、西加奈子さんの「漁港の肉子ちゃん」など。心身ともに疲弊していた私は、差し入れの本を貰うように読んだ。

「天頂より少し下つて」は、あたたかさ声をかけていたことが増えた。医療のいの字もない上にかなり個人的なことが綴られているので、正直、私のページは読み飛ばされるだろうと思つていた。多くの方が読んでくださつて、本当にありがたい限りだ。どうか今回も、最後までお付き合いいただきたい。

うちを訪れるお客様は、ほとんどが外来の患者さん、もしくはそのご家族だが、入院中の方も時々来てくださる。入院着で本を選んでいらっしゃるのを見かけると、無事退院できますようにと祈る一方で、私もここに通えたらよかつたのになと、ついついつつてしまう。

時は2018年の暮れ、私が小説家としてデビューする前にさかのぼる。身体が丈夫だと自負していたが、思いがけず健康診断に引っかかり、とりだい病院ではない、別の病院に入院し手術をすることになった。人生初の体験、しかも2週間ほど療養期間をいただけるということで、妙なスイッチが入った。

「時間がたっぷりあるんだし、読んだことない名作にも挑戦してみよう。この機会にしっかりと勉強して、絶対ステップアップ

するぞ！」

いそいそと本を買い込んでは鞄に詰め、鼻息荒く病院に乗り込んだ……のだが、結論から申し上げよう。無理だった。もしダメマシンがあれば、何がステップアップだよと、当時の自分の頭を叩いてやりたい。

もちろん、入院中でも熱心に勉強できる方は、大勢いらっしゃるだろう。だが、勤勉でない上に、麻酔が切れてひいひい言つっていた私には、難しい文章を読んでその内容を理解するなど、とてもできなかつた。結局、3日と経たず本を投げ出してしまった。

この、無謀とも言える計画に頓挫すると、一気に暇になつた。

まず、自由に出歩けない。テレビ番組は特に観たいと思わない。ゲームも普段からしない。音楽もそんなに聴かない。SNSで楽ししそうな投稿を見かけたら、術後ボロボロになつている自分との差に落ち込みかねない。夜眠れなくなるから(21時消灯に体内リズムが順応できなかつた)、安易に昼寝するわけにもいかない。娯楽らしい娯楽がなかつたので、一日が非常に長く感じた。

退院する2日前。とうとう我慢の限界に達し、母に頼んで、自宅から何冊か本を持ってきもらつた。そのラインナップは、今もよく覚えている。私が最も敬愛する作家、

おそらく本は持参せずに、最初からカニ

ジルブックストアで調達していただろう。

その場合、夢中になれる本を他にも見つけたかもしれない。あるいは、難しい本に手を出して挫折するという、まったく同じ道を辿つたかもしれない。もし後者だったら、未だデビューできていなかつた可能性も、大いにありえる。

しょせん仮の話だから、どうなつていた

かなんて、考えたところでわからない。それでも、本を選んでいる間は非常にわくわくしている方があつたから、もう少し読む予定がない方でも大歓迎だ。

ひとりだい病院1階、タリーズコーヒーの隣で今日も、皆さまのご来店をお待ちしております。

川上弘美さんの「天頂より少し下つて」や、西加奈子さんの「漁港の肉子ちゃん」など。心身ともに疲弊していた私は、差し入れの本を貰うように読んだ。

「天頂より少し下つて」は、あたたかさ声をかけていたことが増えた。医療のいの字もない上にかなり個人的なことが綴られているので、正直、私のページは読み飛ばされるだろうと思つていた。多くの方が読んでくださつて、本当にありがたい限りだ。どうか今回も、最後までお付き合いいただきたい。

うちを訪れるお客様は、ほとんどが外来の患者さん、もしくはそのご家族だが、入院中の方も時々来てくださる。入院着で本を選んでいらっしゃるのを見かけると、無事退院できますようにと祈る一方で、私もここに通えたらよかつたのになと、ついついつつてしまう。

時は2018年の暮れ、私が小説家としてデビューする前にさかのぼる。身体が丈夫だと自負していたが、思いがけず健康診断に引っかかり、とりだい病院ではない、別の病院に入院し手術をすることになった。人生初の体験、しかも2週間ほど療養期間をいただけるということで、妙なスイッチが入った。

「時間がたっぷりあるんだし、読んだことない名作にも挑戦してみよう。この機会にしっかりと勉強して、絶対ステップアップ

するぞ！」

いそいそと本を買い込んでは鞄に詰め、鼻息荒く病院に乗り込んだ……のだが、結論から申し上げよう。無理だった。もしダメマシンがあれば、何がステップアップだよと、当時の自分の頭を叩いてやりたい。

もちろん、入院中でも熱心に勉強できる方は、大勢いらっしゃるだろう。だが、勤勉でない上に、麻酔が切れてひいひい言つっていた私には、難しい文章を読んでその内容を理解するなど、とてもできなかつた。結局、3日と経たず本を投げ出してしまった。

この、無謀とも言える計画に頓挫すると、一気に暇になつた。

まず、自由に出歩けない。テレビ番組は特に観たいと思わない。ゲームも普段からしない。音楽もそんなに聴かない。SNSで楽ししそうな投稿を見かけたら、術後ボロボロになつている自分との差に落ち込みかねない。夜眠れなくなるから(21時消灯に体内リズムが順応できなかつた)、安易に昼寝するわけにもいかない。娯楽らしい娯楽がなかつたので、一日が非常に長く感じた。

退院する2日前。とうとう我慢の限界に達し、母に頼んで、自宅から何冊か本を持ってきもらつた。そのラインナップは、今もよく覚えている。私が最も敬愛する作家、

おそらく本は持参せずに、最初からカニ

ジルブックストアで調達していただろう。

その場合、夢中になれる本を他にも見つけたかもしれない。あるいは、難しい本に手を出して挫折するという、まったく同じ道を辿つたかもしれない。もし後者だったら、未だデビューできていなかつた可能性も、大いにありえる。

しょせん仮の話だから、どうなつていた

かなんて、考えたところでわからない。それでも、本を選んでいる間は非常にわくわくしている方があつたから、もう少し読む予定がない方でも大歓迎だ。

ひとりだい病院1階、タリーズコーヒーの隣で今日も、皆さまのご来店をお待ちしております。

川上弘美さんの「天頂より少し下つて」や、西加奈子さんの「漁港の肉子ちゃん」など。心身ともに疲弊していた私は、差し入れの本を貰うように読んだ。

「天頂より少し下つて」は、あたたかさ声をかけていたことが増えた。医療のいの字もない上にかなり個人的なことが綴られているので、正直、私のページは読み飛ばされるだろうと思つていた。多くの方が読んでくださつて、本当にありがたい限りだ。どうか今回も、最後までお付き合いいただきたい。

うちを訪れるお客様は、ほとんどが外来の患者さん、もしくはそのご家族だが、入院中の方も時々来てくださる。入院着で本を選んでいらっしゃるのを見かけると、無事退院できますようにと祈る一方で、私もここに通えたらよかつたのになと、ついついつつてしまう。

時は2018年の暮れ、私が小説家としてデビューする前にさかのぼる。身体が丈夫だと自負していたが、思いがけず健康診断に引っかかり、とりだい病院ではない、別の病院に入院し手術をすることになった。人生初の体験、しかも2週間ほど療養期間をいただけるということで、妙なスイッチが入った。

「時間がたっぷりあるんだし、読んだことない名作にも挑戦してみよう。この機会にしっかりと勉強して、絶対ステップアップ

するぞ！」

いそいそと本を買い込んでは鞄に詰め、鼻息荒く病院に乗り込んだ……のだが、結論から申し上げよう。無理だった。もしダメマシンがあれば、何がステップアップだよと、当時の自分の頭を叩いてやりたい。

もちろん、入院中でも熱心に勉強できる方は、大勢いらっしゃるだろう。だが、勤勉でない上に、麻酔が切れてひいひい言つっていた私には、難しい文章を読んでその内容を理解するなど、とてもできなかつた。結局、3日と経たず本を投げ出してしまった。

この、無謀とも言える計画に頓挫すると、一気に暇になつた。

まず、自由に出歩けない。テレビ番組は特に観たいと思わない。ゲームも普段からしない。音楽もそんなに聴かない。SNSで楽ししそうな投稿を見かけたら、術後ボロボロになつている自分との差に落ち込みかねない。夜眠れなくなるから(21時消灯に体内リズムが順応できなかつた)、安易に昼寝するわけにもいかない。娯楽らしい娯楽がなかつたので、一日が非常に長く感じた。

退院する2日前。とうとう我慢の限界に達し、母に頼んで、自宅から何冊か本を持ってきもらつた。そのラインナップは、今もよく覚えている。私が最も敬愛する作家、

おそらく本は持参せずに、最初からカニ

ジルブックストアで調達していただろう。

その場合、夢中になれる本を他にも見つけたかもしれない。あるいは、難しい本に手を出して挫折するという、まったく同じ道を辿つたかもしれない。もし後者だったら、未だデビューできていなかつた可能性も、大いにありえる。

しょせん仮の話だから、どうなつていた

かなんて、考えたところでわからない。それでも、本を選んでいる間は非常にわくわくしている方があつたから、もう少し読む予定がない方でも大歓迎だ。

ひとりだい病院1階、タリーズコーヒーの隣で今日も、皆さまのご来店をお待ちしております。

川上弘美さんの「天頂より少し下つて」や、西加奈子さんの「漁港の肉子ちゃん」など。心身ともに疲弊していた私は、差し入れの本を貰うように読んだ。

「天頂より少し下つて」は、あたたかさ声をかけていたことが増えた。医療のいの字もない上にかなり個人的なことが綴られているので、正直、私のページは読み飛ばされるだろうと思つていた。多くの方が読んでくださつて、本当にありがたい限りだ。どうか今回も、最後までお付き合いいただきたい。

うちを訪れるお客様は、ほとんどが外来の患者さん、もしくはそのご家族だが、入院中の方も時々来てくださる。入院着で本を選んでいらっしゃるのを見かけると、無事退院できますようにと祈る一方で、私もここに通えたらよかつたのになと、ついついつつてしまう。

時は2018年の暮れ



〒683-8504 鳥取県米子市西町36番地一
鳥取大学医学部附属病院 広報・企画戦略センター内「カニジル」編集部
TEL 0859-38-7039 / FAX 0859-38-6992
MAIL byouin-kouhou@med.tottori-u.ac.jp



フォトグラファー 中村 治が切り取る
とりだい病院の日常



中村 治

1971年広島生まれ。成蹊大学文学部を卒業後、中国・北京に2年間留学。ロイター通信社北京支局の現地通信員としてキャリアをスタート。ポートレート撮影の第一人者である坂田栄一郎氏に師事。2006年に独立、現在は雑誌広告等のポートレート撮影を中心に活動している。中国福建省の客家土楼とそこに暮らす人々を撮影した写真集『HOME』、2021年12月にはネオンサインを集めた『NEON NEON』(リトルマンブックス)を出版。2020年「さがみはら写真新人奨励賞」受賞。



check! /

日々発信中!
とりだい情報

f @ToriidaiHospital
www.facebook.com/ToriidaiHospital/